

平成27年度 鶏の改良増殖目標の検討値の算出根拠 (卵用鶏)

【卵用鶏】

項 目	平成22年度目標		平成27年度目標	
	現在値	目標値	現 在 値	目 標 値 (案)
(1) 産卵率	82%	83%以上	83% $((83.2 + 81.9) \div 2)$ ・各県試験場が実施した「鶏の性能調査」における12～14年の平均値は、83.2% ・「家畜改良状況調査」における12～14年の平均値は、81.9%	84% ・産卵率は、これまで着実に向上してきた。今後については、その伸びは鈍化するものの、緩やかに向上するものと見込む。 ・平成5～14年の「鶏の性能調査」の数値による平成27年の推計値は84.48 (推計式) $y = 1.4286 \ln(x) + 80.004$ $\left\{ \begin{array}{l} x: \text{年}(1 \sim) \\ y: \text{産卵率} \end{array} \right.$ $= 1.4286 \ln(23) + 80.004$ $= 84.48$
(2) 卵 重	62g	62～63g	63g $((63.1 + 62.9) \div 2)$ ・各県試験場が実施した「鶏の性能調査」における12～14年の平均値は、63.1g ・「家畜改良状況調査」における12～14年の平均値は、62.9g	63g ・卵重は、依然として流通段階がM卵(58g以上、64g未満)指向であること、今後の産卵率向上や初産日齢の早期化を見込んでいること等から、現在値以上の目標値設定は困難。

項 目	平成22年度目標		平成27年度目標	
	現在値	目標値	現 在 値	目 標 値 (案)
(3) 日産卵量	51g	52g以上	52g $(63.0g \times 0.826)$ ・「家畜改良状況調査」における12～14年の平均値は、51.5g	53g $(63g \times 0.835)$
(4) 初産日齢	150日	145～ 150日	147日 $((146+148) \div 2)$ ・各県試験場が実施した「鶏の性能調査」における12～14年の平均値は、146日 ・「家畜改良状況調査」における12～14年の平均値は、148日	140～145日 ・初産日齢は、飼養管理の改善と相まって、着実に早期化してきた。初産日齢は、今後も緩やかに早期化するものと見込む。 ・平成5年～14年の「鶏の性能調査」の数値による平成27年の推計値は143.0 (推計式) $y = -2.0527\text{Ln}(x) + 151.12$ $= -2.0527\text{Ln}(23) + 151.12$ $\left\{ \begin{array}{l} x: \text{年}(1\sim) \\ y: \text{初産日齢} \end{array} \right.$ $= \underline{143.0}$
(5) 飼料要求率	2.2	2.2以下	2.2 $((2.16+2.18) \div 2)$ ・各県試験場が実施した「鶏の性能調査」における12～14年の平均値は、2.16 ・「家畜改良状況調査」における12～14年の平均値は、2.18	2.1 ・飼料要求率の伸びは鈍化しているものの、今後も緩やかに向上するものと見込む。 ・平成5年～14年の「鶏の性能調査」の数値による平成27年の推計値は2.13 (推計式) $y = -0.038\text{Ln}(x) + 2.2643$ $= -0.038\text{Ln}(23) + 2.2643$ $\left\{ \begin{array}{l} x: \text{年}(1\sim) \\ y: \text{飼料要求率} \end{array} \right.$ $= \underline{2.13}$

平成27年度 鶏の改良増殖目標の検討値の算出根拠 (肉用鶏)

【肉用鶏】

項 目	平成22年度目標		平成27年度目標	
	現在値	目標値	現在値	目標値(案)
(1) 体重	2,600g (49日齢)	2,700g (49日齢)	2,600～2,700g (49日齢) ((2,660+2,580) ÷ 2) <ul style="list-style-type: none"> 各県試験場が実施した「鶏の性能調査」における12～14年の平均値は、2,660g 「家畜改良状況調査」における12～14年の平均を49日齢に換算した値は、2,580g 	2,700g (49日齢) <ul style="list-style-type: none"> 近年、肉用鶏の出荷体重の伸び率は鈍化しており、今後も肉質面、処理面等から緩やかな向上に留まると見込む。 平成5～14年の「鶏の性能調査」の数値による平成27年の推計値は2,688g (推計式) $y = 34.85\text{Ln}(x) + 2578.7$ $= 34.85\text{Ln}(23) + 2578.7$ $= \underline{2,688}$ <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> $\left\{ \begin{array}{l} x: \text{年}(1\sim) \\ y: \text{体 重} \end{array} \right.$ </div>
(2) 育成率	96% (49日齢)	98%以上 (49日齢)	97% (49日齢) ((98.4+95.7) ÷ 2) <ul style="list-style-type: none"> 各県試験場が実施した「鶏の性能調査」における12～14年の平均値は、98.4% 「家畜改良状況調査」における12～14年の平均を49日齢に換算した値は、95.7% 	98%以上 (49日齢) <ul style="list-style-type: none"> 育成率は近年は高水準を維持しているが、引き続き改善する必要があることから、現行目標値と同水準と見込む。

【肉用鶏】

項 目	平成22年度目標		平成27年度目標	
	現在値	目標値	現在値	目標値(案)
(3) 飼料要求率	1.9 (49日齢)	1.9以下 (49日齢)	1.9 (49日齢) $((1.92 + 1.95) \div 2)$ ・各県試験場が実施した「鶏の性能調査」における12～14年の平均値は、1.92 ・「家畜改良状況調査」における12～14年の平均を49日齢に換算した値は、1.95	1.9以下 (49日齢) ・肉用鶏の飼料要求率は着実に向上してきており、今後も伸び率は鈍化するものの向上するものと見込む。 ・平成5年～14年の「鶏の性能調査」の数値による平成27年の推計値は1.86 (推計式) $y = -0.0325\text{Ln}(x) + 1.9641$ $= -0.0325\text{Ln}(23) + 1.9641$ $= \underline{1.86}$ <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> $\left\{ \begin{array}{l} x: \text{年}(1\sim) \\ y: \text{飼料要求率} \end{array} \right.$ </div>